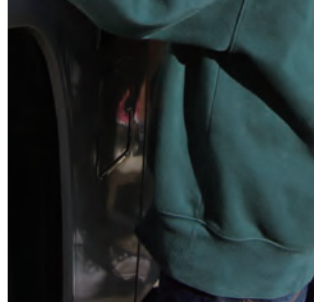
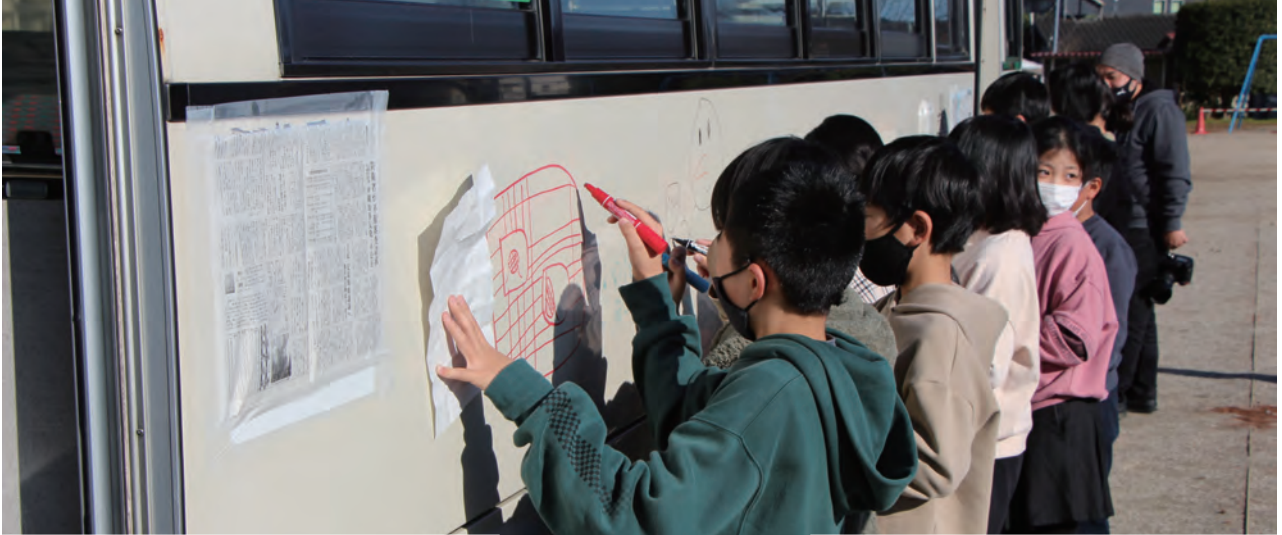




夢と思い出乗せて…友二小落書きバス

バスにぼくらの、わたしの夢を乗せて：

友部第二小学校児童が、新たな思い出づくりを実現しました。発案は谷澤慎太郎同小学校運営協議会委員が、児童の思い出作りに何かできないか、アイデアをいろいろ考えて「落書きバス」を学校に提案、持丸正美校長先生をはじめ、学校側もこの企画に賛同し実現にいたしました。

バスは茨城交通の全面協力のもと、路線バス二台が同小に到着、6年生全員が「冬」をテーマに、油性のマーカーで思い思いの冬を描きはじめました。ゆきだるまや児童でなければ描けない絵などをかき、楽しい一時を過ごしました。また、茨城交通の方々から、バスの乗車の仕方などの指導も受けました。

保護者からは、「コロナ感染のニュースで不安のなか、子どもたちに楽しい思い出ができました」とこの行事に感謝していました。

落書き路線バスは、水戸市内を中心に、水戸・友部間（旭台団地経由）と友部駅から同小前を通ってここの医療センター間を運行していました。

地域の人を訪ねて

「茨城県畜産試験場の思い出」を聞く

茨城県畜産試験場跡地には

現在、笠間市中央公園、リトルリーグ球場、友部第二小学校等があります。今後は市の計画で、市民のつどいの場となる多目的広場（遊び広場・交流広場・芝生広場）や、有事の際の避難場所等、整備が進められていきます。

受けて現住所に移転。

（中略）

畜産試験場は試験・研究機能の充実を図りつつ、畜産物の生産性向上や品質向上のための畜産技術の開発や啓蒙に努め、畜産の発展のために貢献。

□平成12年

1 茨城県畜産試験場の歴史

□明治35年

茨城県種畜場として東茨城郡緑岡村（水戸市見川町丹下）に創設。

□昭和元年

国立友部種羊場跡地を譲り



旧畜産試験場本館

2 米川進さんの思い出

米川進さん（笠間市橋爪在住）は、昭和38年から退職まで茨城県畜産試験場、畜産センターに勤務されました。現在、商業施設・住宅・アパート建設等で、畜産試験場跡地周辺は大きく変わりました。そこで、米川さんから奥様と



米川進さん

ともに、勤務時の畜産試験場の様子や思い出をお伺いしました。

① 畜産試験場の様子

約40ヘクタールという広い敷地で、本館・試験牛舎・飼料畑・牧草地（現モノタロウ）、研修所・グラウンド・公舎等がありました。農場では家畜用の牧草を育て、またカブを栽培している時にはアオムシが大量に発生することもありました。牛乳検査場では、牛乳の成分を調べていました。

② 苦労したこと

飼料開発部にいた時には、新しい機械操作を覚えることに苦労しました。整地実習での直進運転が大変難しかったのを思い出します。

寒い冬場での早番作業も厳しかったです。搾乳をするた

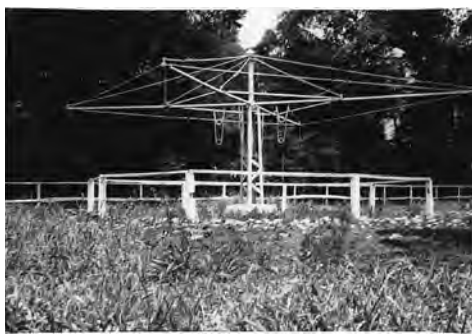
めに、牛の乳房をきれいに洗っておく必要がありました。搾乳前の作業で前搾りがOKとなり、次のバケツ搾りができるようになるからです。

また、大きな体の牛に蹴られる危険もありました。その時の牛の状態によって、事故故につながることもあるので、作業中は絶えず注意を図る必要がありました。

牛の爪を切ることも危険な仕事でした。削蹄ガマでの牛の爪切りは危険を伴い神経を使いました。

③ うれしかったこと

トラクター等の農業用機械の免許、大型機械の免許



牛の運動機

が取れた時はうれしかったです。

また、永年勤続で県知事から表彰を受けたことも大変うれしかったです。当時の橋本県知事から、「同年齢ですね」と話されたことを覚えています。退職まで健康で、無事に勤め上げたことも大きな喜びです。

〇まとめ

『無事、是名馬』

米川さんが、畜産試験場・畜産センターで「一所懸命」定年退職まで勤務されたことが、心から実感できました。「自分で考えること、自分で覚えること」は、働く上での教訓であると思います。また、奥様も同席してお話してください、二人三脚で長い間歩んでこられたこともよく理解できました。

NHKのご自慢大会（小美玉市小川会場）にも出演・熱唱されたとのこと、健康に留意され、もう一度出場されま

友部第二小学校区

交通安全
ボランティアについて

令和3年度をもって、次の方が交通ボランティアを辞められました。

大沢上3区 月本公一、月本智恵子、成田恵子 大沢下1区 狩谷博道 旭崎1区 立川征夫、幸山英弘の各氏です。

5人の方には永年にわたり、地域の子どもたちの安全確保に多大なご協力を頂きました。感謝申し上げます。今後も、今後のご健康とご活躍をお祈りいたします。

なお、4月から、3名の方のご協力が頂けるようになりました。

大沢上2区 後藤政見 大沢上3区 成田高太郎 大沢下2区 平林英男の各氏です。

対話を重ねて

ふれあいを深める

女性部が高齢者を訪問

支部女性部（渡辺米子部長）が運営する「高齢者の居場所づくり・ふれあいサロンなごみ」は新型コロナウイルスの影響で活動を休止しています。が、これに替えて昨年12月、本年度2回目の「会員訪問（47人）」を行いました。

○会員さんの声から

「来てくれてありがとう・サロンの再開が待ち遠しい・心のこもったお品をありがとう」など、たくさんの方が寄せられています。



お便りと手作りポーチなど

◇お便り（カッコ内のみ要約）

お久しぶりです。皆さまお元気ですか？

コロナもやっと落ち着きを見せ始めた中、今度はオミクロン株とかでなかなか治まりません。

今年も師走になりました。サロンは何もできないまま2年が過ぎようとしています。3度目のワクチンが済みまして再開を目指し準備を進めていきたいと思っています。

スタッフで考えプレゼントを用意しました。

寒さの折ですのでホカロンと小さなポーチ（のど飴入りです。好きなものを入れて下さい）カレンダーは今年も「うぐいすの杜」の提供です。

体調を整えて、新しい年が福の神とともに皆さまのもとに舞い込みますようお祈りいたします。

代表 渡辺米子

笠間市社会福祉協議会からはティッシュとマスクをいただきましたのでご活用ください。

児童の「元氣・本氣」に感動

友部第二小学校運営協議会委員報告

11月24日（水）友部二小で持久走大会が開催されました。学校運営協議会委員になって

いる大旭支部、区長会7人が、持久走大会参観、コース内見守り等で参加しました。

各教室でのリモート開会式、校長先生の挨拶の後、校庭で競技が開始されました。1年生から6年生まで、体育の時間や自宅等で練習してきた成果を十分に発揮し、力走する姿が見られました。

【参加した委員の感想】

○最後まで完走ゴールした友だちを、全員で拍手して迎える光景に、心温かいものを感じました。

○走っている途中で体調の悪そうな児童を見かけたので、その状況を先生に知らせました。また別の児童の場合、北側駐車場コースで見守りをしている委員に携帯電話で連絡先生にも知らせました。二人

の児童は学校の判断で競技を中断し、安全に競技が進行してよかったです。

○北側駐車場コースで見守りをしたので、児童一人ひとりの走る姿と表情がよく見えました。どの児童にも『元氣』『本氣』がしっかりと感じられました。自分の目標順位やタイムを決めて、完走することが大切であると改めて思いました。

○県の強化選手になっている児童がいることを知って驚きました。



元氣に力走する児童たち

令和 3 年度大旭支部会員会費報告

地区名	法 人	特 別	一 般	金額合計
矢 野 下 藤 株			17,000	17,000
矢 野 下 下 郷		3,000	77,000	80,000
大 沢 上 1		3,000	101,000	104,000
大 沢 上 2		5,000	66,000	71,000
大 沢 上 3		5,000	50,000	55,000
大 沢 下 1	39,000	15,000	100,000	154,000
大 沢 下 2		5,000	120,000	125,000
八 幡 台 1			62,000	62,000
八 幡 台 2			82,000	82,000
原 団 地			45,000	45,000
清 住 町			68,000	68,000
若 狭 山 団 地		12,000	35,000	47,000
旭 台	15,000	6,000	137,000	158,000
旭 台 団 地 1			62,000	62,000
旭 台 団 地 2			64,000	64,000
旭 台 団 地 3			65,000	65,000
旭 台 団 地 4		3,000	31,000	34,000
旭 平 1			222,000	222,000
旭 平 2	3,000	3,000	96,000	102,000
旭 平 団 地			39,000	39,000
旭 崎 1	16,000	20,000	117,000	153,000
旭 崎 2			27,000	27,000
緑 ケ 丘 団 地			14,000	14,000
サ ン ス テ ー ジ			19,000	19,000
矢 野 下 本 郷			5,000	5,000
合 計	73,000	80,000	1,721,000	1,874,000

令和3年度会員会費の報告とお礼

令和3年度社会福祉協議会
会費募集に当たり、支部
委員・福祉推進委員様から温
かいご支援、ご協力を頂き心
から感謝申し上げます。

お蔭様で左表のとおり、会
員会費をいただくことが出来
ました。これも会員皆様方
の、地域福祉に対する深いご
理解の賜と、重ねて御礼申し

上げます。
なお、当支部に対する交付
金は、還元金、福祉コミュニ
ティ助成金、広報助成金、令
和2年度追加分を合わせて1
12万3600円でした。
交付金は、子ども会育成会、
在宅介護者のふれあい事業、

高齢者クラブへの助成等の支
部事業に大切に活用させてい
ただきました。
今後とも会員皆様のご理解
とご協力をお願いいたしま
す。

大旭支部役員一同

全国永年勤続民生委員・
児童委員表彰者の紹介
成田 恵子氏（大沢上3）

あながき

コロナ禍によって外出自粛
が長引きました。そのため、
人との出会いや行事が大幅に
減少しました。

大旭支部活動、そして各地
域の事業も中止・延期が続き
ました。しかし、広報活動に
多くの方々から協力いただき
ました。心から感謝申し上げ
ます。

大旭支部広報委員会

★広報委員を募集しています★

大旭支部の広報委員を募集
しています。現在4人の委員
で協力し、企画・取材・編集
等の活動をしています。広報
紙作成に興味のある方は、ぜ
ひ参加してください。連絡を
お待ちしております。

□連絡先 市社会福祉協議会
支部担当まで

☎0296-77-0730